

都道府県名：熊本県 団体名：白川中流域土地改良区協議会

地域

白川は阿蘇山の根子岳を発し熊本県中北部を流れる一級河川で、水源は環境省により名水百選に選定されています。白川中流域は、菊池郡大津町と菊陽町及び熊本市東部にまたがる地域です。この地域の水田は阿蘇火砕流の堆積物という地下水をかん養しやすい地層であるため、他地域の5～10倍の浸透効果があります。熊本地域は水道水のほぼ100%を地下水でまかなっている世界でも珍しい地域であり、白川中流域の水田を守ることが熊本地域の地下水保全につながっています。

経緯

- H14年：湯水対策で、白川中流域近辺の4つの土地改良区(現：H28合併後2土地改良区)が水を融通し合ったことをきっかけに当協議会を設立。
- H15年：白川中流域水田で、地元農家や企業の協力を得て湛水事業の取組みを開始。大津町、菊陽町、地元JA及び当協議会で「水循環型営農推進協議会」を設立。
- H16年：白川中流域における水田湛水推進に関する協定締結(H16年度～H25年度)
- H21年：熊本市東部地区が湛水事業へ参加。
- H26年：白川中流域における水田湛水推進に関する協定締結(H26年度～H35年度)
- R6年：白川中流域における水田湛水推進に関する協定締結(R6年度～R15年度)

功績内容

○水循環型営農推進運動

熊本の宝である地下水を守り継いでいくために、行政、JA、企業等と連携しながら、水田転作物の作付け前や後の期間に水張りを行うという、独自の取組みを実施しています。白川中流域におけるこの取組みで、R5年度は参加人数283人、湛水実面積324ha(延べ面積526ha)で水張りを行った結果、推定かん養量は1,579万m³となっています。

○普及・啓発活動

熊本の地下水を守るためには、流域全体の連携が不可欠であることから、小学生を対象として「田んぼの学校」や、高校生を対象とした「田んぼのハイスクール」を実施し、田んぼでの田植え・稲刈り等の農業体験を通して、地下水保全の大切さや、農業・水田の持つ多面的機能を学ぶ機会を作るなど、普及・啓発活動に尽力しています。

水張りの様子



水循環型営農推進運動



普及・啓発活動



田植え体験